

2026年7月26日(日)

日本基督教団 大宮教会
大宮教会ビジョン
「すべての人を喜びあふれる神の家族へ」
- 聖書の御言葉に生きる共同体を造り上げる -
(マタイによる福音書 28 : 19~20)

聖霊降臨節第10主日

朝第1礼拝 9:00~10:00

朝第2礼拝 10:30~11:45

＜神の招き＞

前 奏 ①主キリスト、み顔を我らに向け給え ベーム
②プレリュード トウンダー

招きの詞 詩編103:1~5

交読詩編 13:1~6

讃美歌 149

＜神の言葉＞

聖 書 イザヤ書60:1~5
(旧約 聖書協会共同訳 1144 頁)
エフェソの信徒への手紙5:6~20
(新約 聖書協会共同訳 350 頁)

祈 禱
讃 美 歌 519
説 教 「光の子として歩む」

佐藤潤伝道師

祈 禱
黙 想
讃 美 歌 502

＜神への応答＞

使徒信条
献 金
主の祈り

宣教報告②

頌 栄 26

派遣と祝福

後 奏 ①天にまします我らの父よ プレトリウス
②愛する神にのみより頼む者は バッハ

宣教報告①

サテライトチャーチ植竹礼拝 10:30~11:30

夕 礼 拝 18:00~19:00

＜神の招き＞

前 奏 わたしの愛する神に ヴァルター

招きの詞 詩編103:1~5

交読詩編 13:1~6

讃 美 歌 13

＜神の言葉＞

聖 書 エゼキエル書34:23~31
(旧約 聖書協会共同訳 1334 頁)
ヨハネによる福音書10:11~21
(新約 聖書協会共同訳 183 頁)

祈 禱
讃 美 歌 59
説 教 「主イエスは良い羊飼いです」
熊江秀一牧師

祈 禱
黙 想
讃 美 歌 459

＜神への応答＞

使徒信条
献 金
主の祈り
宣 教 報 告
頌 栄 28
派遣と祝福
後 奏 モデラート ニ短調 グッドウィン

ワーシップ(賛美礼拝) 14:00~15:00

説教「真理はあなたがたを自由にする」
熊江秀一牧師
ヨハネによる福音書8:31~32
賛美：ここから、どんな時でも、愛しています、
感謝の心、主イエスと歩く道、主の祈り、
主イエス神の愛、向日葵

次週の礼拝(8月2日) 聖餐式

① 9:00、② 10:30
説教「新しい優れた約束」
熊江秀一牧師
出エジプト記25:1~9、
ヘブライ人への手紙8:1~6
交読詩編94:8~15
讃美歌12、50、449、81、28

夕 18:00
説教「十二人を派遣する」
佐藤潤伝道師
エゼキエル書37:15~22、
ルカによる福音書9:1~9
交読詩編94:8~15
讃美歌57、153、402、81、25

*礼拝中、起立が無理な方は、着席のままどうぞ。*は祈禱当番の方。*①は朝第1礼拝、②は朝第2礼拝、夕は夕礼拝。

■今週の祈禱課題■ 独り祈る時、共に祈る時にお覚えください。

1. キリストの体なる教会が豊かに形成される為に
2. 東日本大震災と能登半島地震の被災者の為に
3. 教会学校小学科・中高科夏期学校の為に
4. 長老会の為に
5. 関連幼稚園（大宮、植竹、白百合）の為に
6. 埼玉地区の為に
7. イスラエルとパレスチナ、ウクライナ、イラン、世界の平和の為に
8. 病気の兄姉の為に

*関東教区お祈りカレンダー 沼田教会 緑野教会 渋川教会

◇先週の説教より「主イエスは永遠に生きている」ヘブライ人への手紙7章20～28節、詩編110編1～7節 熊江秀一牧師

26節以下は「ラブソディ」（狂想曲）とも呼ばれる。大祭司キリストに対する熱き思いが歌われる。まずこの説教者は「大祭司こそ、私たちにふさわしい方」（新共同訳：必要な方）と歌う。「ふさわしい」は、英語の「フィット」である。この大祭司は、私たちの救いのために、ふさわしい姿で完全にフィットして下さる方である。
この「ふさわしい」姿とは、御自分をいけにえにする姿である。
この世の大祭司はまず自分の罪のため、その後、民の罪のためにいけにえを捧げた。毎年、贖罪日に、大祭司によって、この罪の贖いがされると共に、毎日、数え切れないほどの祭司たちによって、執り成しの祈りが捧げられた。それでも私たちの罪の完全な贖いとはならなかった。しかし大祭司キリストは、ただ一度の十字架によって私たちの罪を贖い、救いを成し遂げられた。しかもこの大祭司キリストの執り成しは今も続いている。

十字架によって、私たちの罪を贖われたキリストは、復活し、今も生きて働き、私たちを執り成し続けている。大祭司キリストは今も生きて働く永遠の大祭司である。その喜びにあふれ、熱い思いを持って、この説教者はラブソディを歌う。
宗教改革者マルチン・ルターもこのラブソディから大きな影響を受けた。ルターが「万人祭司」を解き明かす時、この御言葉を引用し、大祭司キリストは今も生きて働き、メルキデゼクのように天において見えない務めを果たしておられること。その見えない務めを、見える形で行うために、キリスト者はみんな「万人祭司」として立てられていると告げた。今も生きて働かれるキリストの執り成しの中、私たちも祭司となって互いに執り成し合うのである。「小さいキリスト」（ルター）となって歩もう。